



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.331 2014.11.19

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

国会解散・総選挙へ

消費税10%増税中止、安倍暴走政治にストップを

安倍晋三首相は18日夜、首相官邸で記者会見し、衆院を21日に解散すると表明しました。また来年10月の消費税率10%への引き上げを先送りし、2017年4月に10%増税を「確実に実施する」と明言しました。

総選挙は12月2日公示、14日投票の日程でおこなわれます。

**世論と運動に
追い込まれた解散**

日本共産党の志位和夫委員長は、同日



記者会見する志位和夫委員長



街頭で政策を訴える、のの山区議 = 16日

に開いた記者会見で、「なぜいま解散なのか大義を語る事ができませんでした。首相が、いま、解散に踏み切る本当の動機はただひとつです。『解散を』延ばせば延ばすほど追い詰められる、だから今やっつけてしまおう」という思惑だけです。国民の運動と世論に追い込まれた解散です」と語りました。

さらに志位委員長は「安倍政権の民意に背く暴走で、国民の批判と世論が高まっています。主権者・国民が暴走ストップの審判を下し、政治を変える絶好のチャンスがやってきました。そういう立場で、日本共産党は大いに躍進を期してがんばりたい」と表明しました。

日本共産党の躍進で政治の流れを変えるチャンス

東京は全区で立候補

今回の総選挙で、日本共産党は衆院東京ブロックの25小選挙区すべてに候補者を擁立します(写真)。

12区(北区・足立区西部)では比例との重複で、池内さおり党都委員・青年学生部員が国政をめざします。



米軍基地建設が争点の沖縄県知事選挙

オール沖縄

翁長氏が圧勝



翁長雄志氏(前列右から6人目)の当確を受け、全員で手をつないでバンザイ三喝

新基地はつくらせない

安倍政権に痛烈な審判

沖縄県名護市辺野古への新基地建設の是非を最大の争点にした県知事選挙が16日投票され、保守革新を乗り越えた「オール沖縄」の民意を代表し、新基地建設断固反対を掲げる前那覇市長の翁長雄志(おながたけし)氏が歴史的圧勝を果たしました。県民を裏切り、安倍政権とともに新基地を推進してきた現職の仲井真弘多氏との事実上の一騎打ちを制しました。

沖縄県知事選挙開票結果(選管最終)

当 翁長 雄志	360,820票
仲井真弘多	261,076票
下地 幹郎	69,447票
喜納 昌吉	7,821票

来続く辺野古新基地建設反対のたたかいに大きな展望を開きました。翁長氏は記者団に対し、「仲井真知事の埋め立て承認は県民にとって許すことができないものだったと思う」と指摘。総選挙の結果を踏まえた上で、県民の主張を日米両政府に直接、伝える考えを示しました。

北区議会
第4回定例会

日本共産党の本会議質問



代表質問

11月25日(火)午前10時
本田 正則 議員

- ①消費税 10%増税中止など国に求めること
- ②高すぎる国保料の引き下げを
- ③高齢者の人権と尊厳を守る喫緊の課題
- ④若者・ファミリー世帯の定住化対策の強化を
- ⑤ 40 人学級への逆戻りを許すな
- ⑥住民本位のまちづくり、区民のくらし応援を



個人質問

11月26日(水)午前10時
山崎 たい子 議員

- ①産後デイケアの支援について
- ②障害者計画の改定にむけて
- ③ギャンブル依存症とカジノについて
- ④「国家戦略特区」について区の考えを問う

※傍聴の際は区役所第1庁舎4F議会事務局で手続きを。